

1年生の保育実習の復活が決まった。校区内の5つの園が快く承諾いただけた。今日までに5つの園に挨拶に伺った。うれしかったのは、どの園でも快諾どころか、保育実習が復活することをとっても喜んでいただいたこと▼「とても楽しみにしています」この一言に過去の保育実習、先輩方の実践の成果を感じるとともに、復活に舵を切ったことを価値付けしていただいたと感じた。大きなねらいは3つ①命の大切さを実感する②人（子ども）への関心を持つ③思いやりや責任感を育む▼実習は半日しかとれないので、大きなことは言えないが、3つの目標の一助となればよい。そしてそれでよい▼当日の前後のプロセス（事前学習と事後学習）を含めれば、数時間になる。大筋は決まっているが、詳細はこれから。走りながら考える▼子どもたちに、人を嫌いになってほしくないというのは、教師共通の願い。そして、守るべき他者の存在に気づいてほしい▼「先ず20坪の教室から、外へ出なければならない」20年も前に教えていただいた言葉がまた蘇ってきた。そうだったそうだった。3年生の修学旅行。2年生の名古屋分散学習。そして、今回復活した1年生の保育実習。学びのフィールドは20坪の教室では足りない。学校行事も同じ。まもなく体育祭の取り組みも始まる。合唱祭もある。おっと、忘れていた。来週は、中間テスト。お勉強もがんばる。